

会報着

川崎大師RC

その他

ロータリーの友英語版 熊平様より抜粋のつづりをいただきましたので、ポストインしてあります。

追伸

1・2・3月分会費納入月です。よろしくお願いたします。

<ニコニコ委員会>

安藤志子委員長

渡邊会長→「湿度が低く乾燥していますので、風邪に気をつけてください」。井上幹事→「吉田会員、卓話よろしくお願いたします」。吉田会員→「久しぶりの卓話で少し緊張しています」。大矢会員→「古希展の新潟も盛会に終わりました。毎夜のアルコールで少し太ったようです」。川口会員→「長らくごぶさをいたしました」。以下、感謝を込めてニコニコへ。佐藤会員、白井会員、岡本会員、佐々木会員、碓井会員、安部会員、野島会員、中村会員、鈴木会員、結城会員、安藤亨会員、安藤登会員、加納会員、玉井会員、内藤会員、箕輪会員、服部会員、山崎会員、植松会員、小塚会員、安藤志子会員。

<出席委員会報告>

内藤委員

	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第1385回	47	31	16		65.96%
第1384回	47	35	12	7	89.36%

<ロータリー財団>

佐藤委員長

加納会員より奥様お誕生日につき、「お花ありがとうございました。非常に喜んでおりました」ということでいただきました。ありがとうございました。

<ニコニコ・財団・米山委員会報告>

	今回		累計	
ニコニコ	26件	26,000円	818件	915,000円
財団	1件	10,000円	29件	274,000円
米山	0件	00円	29件	383,000円

本日のプログラム

<会員卓話>

吉田大成会員

◎道州制について

▽平成18年2月、内閣総理大臣の諮問機関である第28次地方制度調査会による『道州制のあり方に関する答申』において、広域自治体改革の「具体策としては道州制の導入が適当」とし、道州制の制度設計について提言された。

▽平成18年9月、安倍内閣発足。道州制担当大臣の設置、『道州制ビジョンの策定』の方針が示されるなど、国においても本格的な議論がスタートし、にわかには道州制論議も賑やかになってきた。

▽しかしながら、昨年暮れの民間による調査では、道州制に「反対」は26%、「どちらかといえば反対」も36%と、計62%に上ったのに対し、「賛成」は、「どちらかといえば」を含めても計29%にとどまるなど、国民的な理解は進んでいない状況が浮き彫りになった。

▽地方分権改革、市町村合併などを通じ、国のカタチが大きく変わっていくという流れの中で、この道州制論議は欠かすことのできない大きなテーマ。

だが、道州制のイメージはわかりにくい。相次いで知事が逮捕された官製談合事件や、夕張市に代表されるような自治体の財政危機が表面化する中、国から委譲される権限の受け皿づくりとしては、その手法に疑問が向けられている状況でもあろうかと思う。▽今年春に統一地方選挙、夏には参議院選挙が行われる。

争点、メインテーマにまでにはなり得ないテーマかもしれないが、「国のカタチをどうしていこうか」という大事な議論であり、今後の論議の過程において、国民的関心の喚起は不可欠ということもあり、隠れた争点であるということを取り上げる。

▼道州制とは

確定した定義はないが、一般的には、「現在の都道府県に代えて、より大きな規模の「道州」を新たに置くことにより、現在、国が行っている仕事のうち、国でないとできない仕事（外交や国防など）を